

(様式1-3)

福島県(富岡町) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業
等個票

令和3年4月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	64	事業名	移住定住促進体制基盤構築等事業	事業番号	(7)-49-1
交付団体	富岡町	事業実施主体(直接/間接)	富岡町(直接)		
総交付対象事業費	5,291(千円)	全体事業費	5,291(千円)		
帰還・移住等環境整備に関する目標					
令和2年3月策定の『富岡町災害復興計画(第二次)後期』第1章において掲げている“人が生き 町が生き 未来がいきる 富岡町”を目指して、新たな活力を呼び込み、魅力あるまちづくりを進める。					
事業概要					
移住定住者の着実な増加を促進する体制の基盤を構築するため、町内で活躍する民間の方を始め移住定住促進に資する取組・役割を中心的に担うキーマンを洗い出してデータベース化するとともに、多様な背景や属性を持つ各キーマンたちが有機的に相互連携する(応援し合う)ためのネットワーク(キーマン同士の横のつながり)を形成する。					
また、キーマンを始め、富岡出身町民、移住町民、立地企業、関係団体、役場職員等をメンバーとする座談会を開催し、移住定住の促進に係る地域課題・ニーズの洗い出し・掘り起こしを行った上で各種課題・ニーズに対する解決策について議論・検討し、その結果を整理して取りまとめる。					
『富岡町災害復興計画(第二次)後期』 第2編 政策5) 新たなひとの流れの創出					
【取組方針】					
○将来的に移住へのつながる交流・関係人口の創出・拡大を図ります。					
○新たに、町に住んでみたい方々を支援します。					
『「富岡町移住・定住促進中期戦略(2021年度～2025年度)」』					
Ⅴ. 取組と実行基盤					
(1) 主な取組					
取組2 移住支援体制の強化、充実					
○まちづくり会社の体制強化					
○移住サポーター導入					
○地域課題解決プラットフォーム形成事業					
当面の事業概要					
<令和3年度>					
①キーマンデータベース「とみおかくらし応援団(仮)」の整備					
キーマンを洗い出してリスト化し、キーマン一人ひとりのバックグラウンドや専門性等をまとめた個別カルテを作成し、これらを統合したデータベースを整備する。					
②座談会「とみおかオープンラボ(仮)」の企画及び運営					
ワークショップ形式による座談会を定期的で開催し、参加者同士の交流を深める(ネットワーク形成を図る)とともに、地域課題・ニーズを効果的に引き出して整理するための座談会を企画・運営する。					

<令和4年度>

①キーマンデータベース「とみおかくらし応援団（仮）」のアップデート

データベースの継続的活用のため、新規キーマンの追加、個別カルテの更改・項目拡充、取組・活動実績の反映等により、さらなる有用性の向上を図る。

②座談会「とみおかオープンラボ（仮）」のサステナビリティの確立

将来的に持続可能な中間支援組織へ昇華させることを念頭に、継続して参加者同士のつながりの維持・強化、互いの活動を応援し合う・磨き合う風土の醸成、地域課題・ニーズに対する具体的な解決策等の事業化等に取り組むとともに、PDCAサイクルによる改善や機能強化を進める。

地域の帰還・移住等環境整備との関係

令和3年4月1日現在の町内居住届出者数は、1,594人、1,111世帯となっている。町内居住者の約5割は震災後に転入してきた住民であり、復興関連事業に従事する単身働き世代であるため、今後は、帰還の促進に加え、町の将来を担う20～30代の若者や子供たちの居住をすすめ地域コミュニティの再構築を進める。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--